



“REACH・CLP最新の状況”

2010年12月2日



(社)日本化学工業協会
REACHタスクフォース事務局

改訂版をご覧ください。

内容

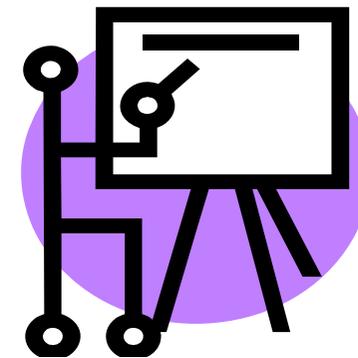
1. REACH現状と課題

- ・REACH登録関係の状況
- ・SVHC (Candidate list)
- ・認可対象物質の勧告について
- ・制限対象物質に関する動き
- ・REACH査察・罰則関係
- ・SDSの改定について

2. CLP関係

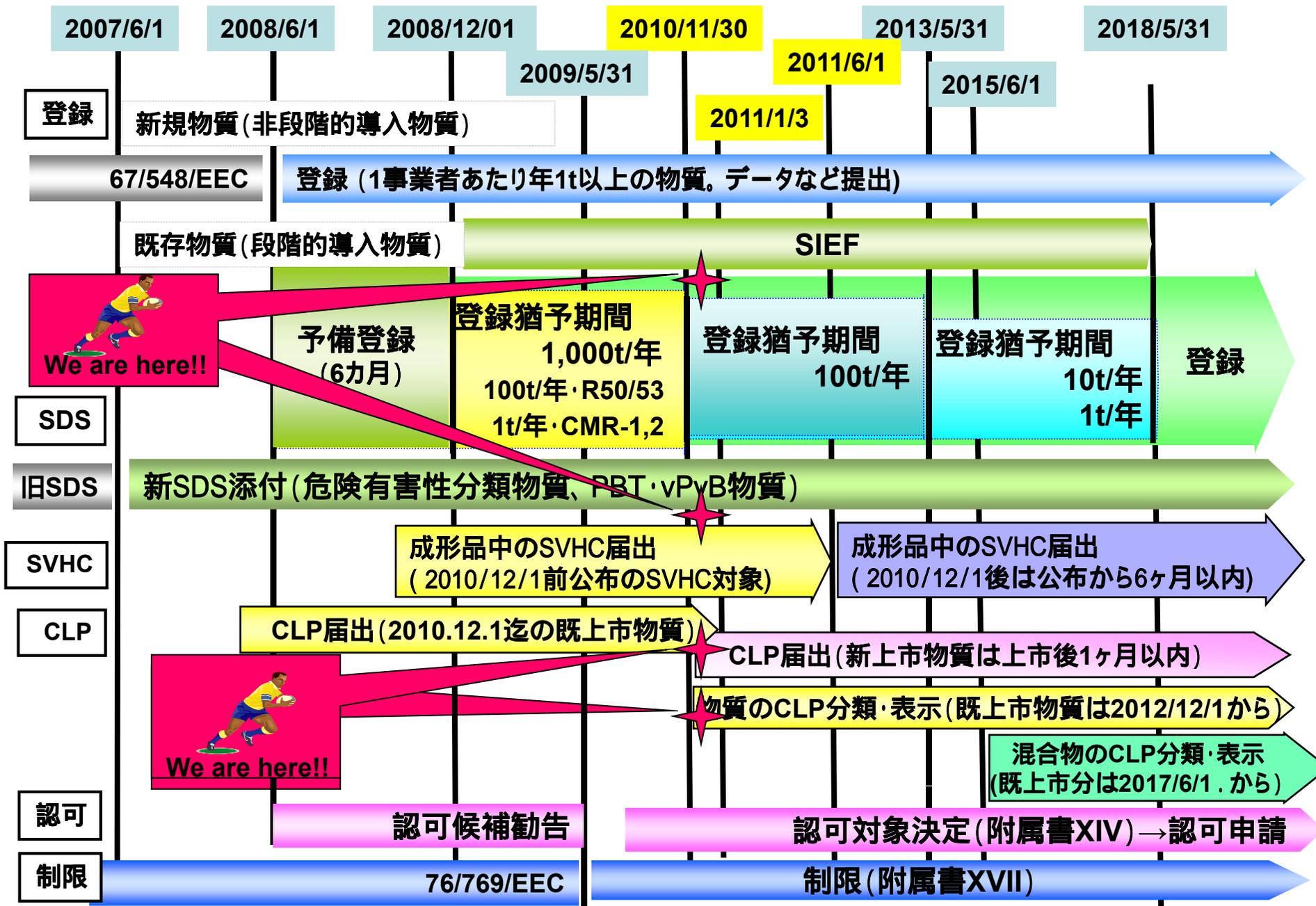
- ・届出に関する主なポイント
- ・CLP料金規則

3. まとめ



1. REACH現状と課題

REACH関係の施行スケジュール



REACH登録関係の状況 (SIEF形成状況等)

◆ 予備登録された物質総数：約15万件

最初の登録期限2010.11.30の対象：約5万5,000件

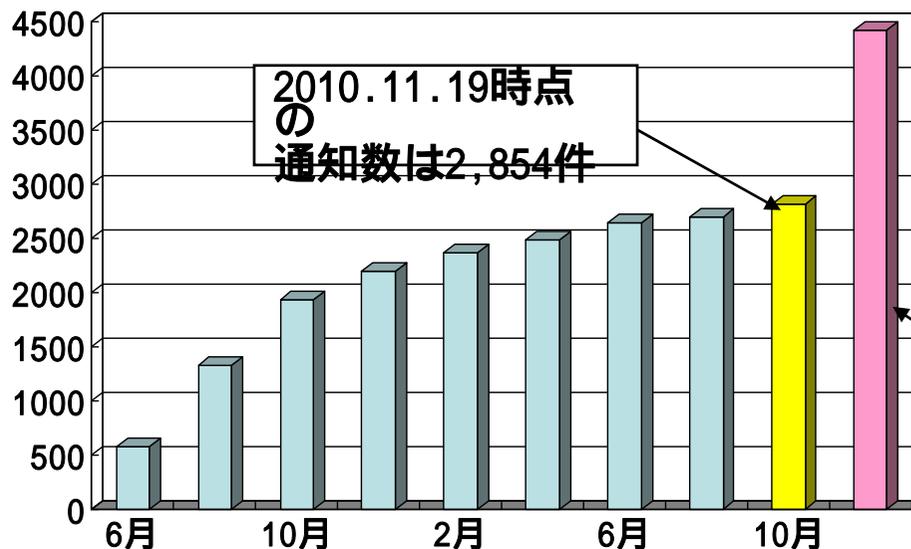
ECHAによる最初の期限の登録必要物質数予測：約9,000件

ECHAは、2010.3.16最初の登録期限対象者に対して登録予定、SIEF参加の調査を開始。2010.4.16 News Alertで登録予定物質数は**4,415件**

ECHA Website の Active Lead registrants update の状況

SIEF形成/先導登録者 (LR)のECHAへの通知：2010.11.19時点で2,854件

約17,000件のREACH登録ドシエ、CLP届出は118万件 (ECHAweb 2010.11.30)



<2010.12.1 ECHA速報>

**約3,400物質が登録
(新規も含めると4,300物質)**

ECHA調査結果の
登録予定数は
4,415件

2010.11.30
ECHAは登録予定物質リス
トを更新:4,900件、うち既に
2,921件が登録済み

REACH登録期限に猶予を与えることを発表

http://echa.europa.eu/news/pr/201009/pr_10_19_dcg_20100927_en.asp

{ECHA Press Release (2010.9.24)} 特殊事情に該当する場合の登録期限猶予について

http://echa.europa.eu/news/na/201011/na_10_69_dcg2_20101112.en.asp

{ECHA News Alert (2010.11.12)} DCG情報のアップデートを記載

- ◆ ECHAは下記の特殊事情に該当する場合は登録期限の時間的猶予を認めることを発表した。

混合物の輸入者が組成情報及び物質の分析データ入手困難な場合

Legal Entity 変更のため(遅発)予備登録情報の変更ができない場合

先導登録者が登録文書提出に失敗した場合

EU供給者のDUが輸入者としての登録を強いられる場合

登録者が新たなガイダンスに従っての新たなデータ提出が困難な場合

上記に該当する場合、ECHAwebsiteより情報提供(通知)が可能

Notice on the use of the following web-forms to provide information about being in an exceptional situation as identified by the DCG

http://apps.echa.europa.eu/forms/dcg/dcg_form.aspx

参考)2010年12月以降公開が予定されている新たなガイダンス
(ECHA s Fifth Stakeholders Day Ceficプレゼン資料からの抜粋)

http://echa.europa.eu/news/events/5th_stakeholders_day_en.asp

Stability of guidance



Guidance	Issuance date
Guidance on registration	
• Amendment of Annex V guidance (GMOs, glass and frits, hydrogenation)	After 1/12/ 2010
• Amendment of Guidance on monomers and polymers	After 1/12/ 2010
• Guidance on intermediates (clarification of the concept of strictly controlled conditions)	After 1/12/ 2010
Guidance IR & CSA	
• Scope of exposure assessment	After 1/12/ 2010
• Exposure based adaptation and strictly controlled conditions	After 1/12/ 2010
• Exposure scenarios for waste life cycle stage	After 1/12/ 2010
• Derivation of DNELs/DMELs from human data	After 1/12/ 2010
Guidance on substances in articles	After 1/12/ 2010
Guidance on Safety Data Sheets	After 1/12/ 2010
Guidance on the CLP Regulation - application of the CLP criteria (labelling)	After 1/12/ 2010



12

SVHC (Candidate list)

- ◆ 第1回目のSVHCとして3種のフタレート(DEHP, DBP, BBP)、ヘキサブロモシクロドデカン(HBCD)等、15物質を決定し、2008.10.28に公表(付表-1参照)
第2回目のSVHCとして、アントラセンオイル、クロム酸鉛等、14物質が2010.1.13に決定。その後、アクリルアミドが2010.3.30に決定(付表-2参照)

第3回目のSVHCとして重クロム酸カリウム、ホウ酸等、8物質が2010.6.18に決定(付表-3参照) **合計38物質**
- ◆ 2010.8.30第4回目のSVHC案としてトリクロロベンゼン、コバルト化合物、メキシタール等、11物質が公表され、2010.10.14までのパブコメ募集中(付表-4参照)
- ◆ 上記以降のSVHC案提案計画(RoI)として、2010.9.1時点で砒素化合物、コールタール類等、5物質を掲載中(付表-5参照)
同年10/4に1物質、10/20に1物質、10/25に5物質がRoI提案(付表-6参照)
http://echa.europa.eu/chem_data/reg_int_tables/reg_int_en.asp?substance_type=SVHC&substance_state=current
- ◆ 将来計画として、2012年までに106物質を含めるためのロードマップについて、欧州委員会代表がECHAと合意

成形品のSVHC分母問題に関する動向

- ◆ 現状、成形品のガイドンスにおいて、成形品全体を分母とする欧州委員会とECHAの解釈に対し、デンマークなど7カ国が部品単位の扱いを主張しており、議論は平行線となっている。
- ◆ 2010年10月開催のCARACAL会議でデンマーク他が新解釈“Once an Article – Always an Article”を提唱し、3カ国(オランダ、イタリア、スロベニア)が新たに賛同するなど、その解釈が予断を許さない状況となっている。
- ◆ 日化協はAPECを通じECHAに対し新たな解釈を採用することへの懸念を表明(2010.11.26)
経済産業省も各業界の意見を踏まえ、11月末開催の日EUハイレベル会合で変更への懸念を表明
2010年12月以降の成形品ガイドンス改訂の内容に要注目！

認可対象物質の勧告について

- ◆ ECHAは欧州委員会へ認可対象として、3種のフタレート(DEHP, DBP, BBP)等、7物質(付表-7参照)を勧告した事を2009.6.2に公表
- ◆ 7物質の**付属書XIV**収載
7物質中1物質(短鎖塩素化パラフィンSCCPs)はPOPsで禁止のため除外予定
ドラフト版をWTO通知後2010年9月投票を経て2011年早期に公布予定
(9/21欧州委員会はECHA提案どおり6物質の付属書収載について採択)
また、ガイダンスのドラフト版を近々公表予定 (第5回CARACAL会議情報)
- ◆ ECHAは2010.7.1、フタレートのDIBP、砒素化合物等8物質(付表-8参照)を欧州委員会に勧告する認可対象の案として公表。パブコメ期限は2010.9.30
- ◆ 上記物質が輸入アーティクルに含まれる場合、認可対象にはならない。^{*}
しかし、優先度は低い状況に応じて制限の規制対象にはなり得る。

^{*}: 成形品中の化学物質の要件(RIP3.8)に関するECHAガイダンス
(2008.5初版および2009 draft version 2.0)に記載

制限対象（REACH付属書XVII）

- ◆ 制限対象物質は付属書XVIIに収載される。2009.6.26公布の付属書XVII更新版は、PFOS、シクロヘキサン等、6物質(群)が、初版の Point No.52より後にNo.53からNo.58として追加されている(付表-9参照)
- ◆ 更に、2010.4.1に新たに付属書XVIIにジクロロメタン等、3物質(群)が追加・更新された(付表-9参照)
- ◆ 今後の制限対象物質案の提案計画(RoI)として、2010.6.15時点で水銀及びその化合物の6物質を挙げた(付表-10 (1)参照)
その後、2010.12.1時点でフタレート4物質が挙げられている(付表-10 (2)参照)
- ◆ ECHAは、フランスから出された鉛とその化合物、及びジメチルフタレートの制限に関する提案書についてパブコメ募集を2010.6.21に公表。期限は6ヶ月

参考：DMF（ジメチルホルムアミド）薬傷問題

- ◆ 中国製家具などに入っていた乾燥剤からDMFが揮散・浸透し、皮膚疾患や呼吸障害が発生した問題で、欧州委員会は2009年5月1日以降 DMFを含有する製品の上市禁止と既に市場にある製品のリコールを加盟国に要求

2010.3.15までの時限つき立法（2009.3.17欧州委員会決定）

- ◆ その後、フランスよりREACH制限物質に含める提案あり(2010.6.21)
現在、ECHAウェブに進行中の制限提案として掲載中

http://echa.europa.eu/consultations/restrictions/ongoing_consultations_en.asp

- ◆ DMF入りソファによる薬傷問題でUK High Courtは家具のリテラー3社に対し、被害者1,650名に**総額 £ 20Mの支払い**を命じた。
他に3,000名の被害者が訴訟中であり、その判決は5月に出る予定
“The largest consumer group litigation in UK legal history.”

(Chemical Watch情報2010.4.26)



北京で1つの椅子店 - 写真:AFP通信

制限対象物質に関する動き

- ◆ CMR:新たにCMR Category1A又は1B(ホウ酸及び周辺9物質)になった物質を付属書XVII改訂版に含める予定(施行2010.12.1予定)
(旧指令から既に一般消費者への販売は禁止)
- ◆ カドミウム:従来より更に、ろうづけ合金、宝飾品、及び塩ビ建材への使用制限を加える修正ドラフトを2010.6作成予定
- ◆ フタレート:欧州委員会による制限内容の見直し対象 DNOP、DINP、DIDP はECHAが2010.1に結論提出。[DEHP、BBP、DBP、DIBP](#) は間もなく結論出し
(2010.10.20 RoIに記載された)
- ◆ 短鎖塩素化パラフィンSCCPs:現在の制限内容の再検討は2010.3採択予定
- ◆ 測定機器中の水銀:ECHAがRoIの付属書XV(提案書)を審議中
[2010.9.24Press Releaseにて12.24までのパブコメ募集、決定は2011.3.24](#)
- ◆ PFOA:現在、検討中であり、2010末にファイナル化し、欧州委員会Websiteで公表予定 (第4回CARACAL会議情報より)

制限対象物質に関する動き (続き)

- ◆ アクリルアミド:
グラウチング用途(地盤改良用薬液注入)の制限提案

PAHs(多環芳香族炭化水素):
消費者用途(タイヤ用途等)の制限提案

PFOA(パーフルオロオクタン酸)の制限提案

フタレートについて既存の制限内容のレビューが行われた。

{第5回CARACAL会議(2010年6月)情報より}

REACH査察・罰則関係

REACH不遵守に対する執行の動き

- ◆ 第1回執行プロジェクト(2009年5-12月)で1600件の査察が実施された。
 - ・査察対象: 製造者878社、輸入者666社、唯一の代理人83社、川下858社
 - ・違反: 24% (登録関係: 2.6%、予備登録関係: 5.6%)
 - ・罰金: 12件、刑事告発: 3件、行政命令: 169社
 - ・SDS関係: 査察全体の11%がSDS無しで、20%が言語・書式で不備
 - ・第1回プロジェクトは初回登録期限の後の2011年春まで実施予定
 - ・今後、「制限」、「CLP」についても執行準備中 {ECHA Press Release (2010.6.1)等より}
 - ・ECHAは10/11 REACH-EN-FORCE-1 のプロジェクトレポートを公開
- ◆ スウェーデンは執行規則改定を提案中で、成形品サンプル提出義務付けも含める予定。発効予定は2011.1.1 (http://www.kemi.se/templates/News_6036.aspx参照)
- ◆ UKは、査察キャンペーンで、2物質(重クロム酸アンモニウム、MDI)に焦点をあてることを発表 (<http://www.hse.gov.uk/reach/ourwork.htm>参照)
- ◆ REACH遵守の査察実施状況調査結果(第2弾)
 - ・経済産業省が、REACH査察状況・罰則適用状況などについて、新たに11カ国とドイツ3州を追加した調査結果を公開。本調査は日化協からの要請に基づく。
(http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/int/reach.html 参照)

REACH付属書 (SDS要件)改訂版の官報告示

◆ EU委員会は2010.5.31付の官報でREACH付属書II (SDS要件)の改訂版を公表
http://eur-ex.europa.eu/JOIndex.do?year=2010&serie=L&textfield2=133&Submit=Search&_submit=Search&ihmlang=en

・目的:CLP規則とSDSの調和

2010年12月1日、2015年6月1日の2段階の移行

(2010年12月1日から物質のSDSにREACH付属書 の改訂版が適用され、
より詳細かつ付加的な情報をSDSに記載することが義務付けられるなど)

・SDSの記載内容の主な修正について

- 1.1 共同提出メンバーの登録番号の下4桁は、特定条件の下に省略可能
(当局・受領者・川下のユーザーの要請に対し7日間以内に提供など)
 - 1.4 正式な加盟国内の諮問機関の電話番号の提供(企業連絡先は不要)
- 16項目に変更はないが、より詳細かつ付加的な情報を要求する
サブセクションが追加され、これらは記入必須
- 4.1 応急措置の説明、4.2 症状と医療上の配慮、4.3 特別に必要な治療
 - 5.1 消火剤、5.2 特殊なハザード、5.3 消防士への助言
 - 8.1 SDS提供国における基準値の法的根拠となる法規の引用

2. CLP関係

CLP規則

31.12.2008

EN

Official Journal of the European Union

L 353/1

- Source: <http://eur-lex.europa.eu/LexUriServ/LexUriServ.do?uri=CELEX:32008R1272:EN:NOT>

I

(Acts adopted under the EC Treaty/Euratom Treaty whose publication is obligatory)

**CLP
(GHSの導入)**

REGULATIONS

REGULATION (EC) No 1272/2008 OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL

of 16 December 2008

on classification, labelling and packaging of substances and mixtures, amending and repealing Directives 67/548/EEC and 1999/45/EC, and amending Regulation (EC) No 1907/2006

(Text with EEA relevance)

**危険物指令と
危険な調剤指令
改訂と廃止**

**REACH規則
の改訂**

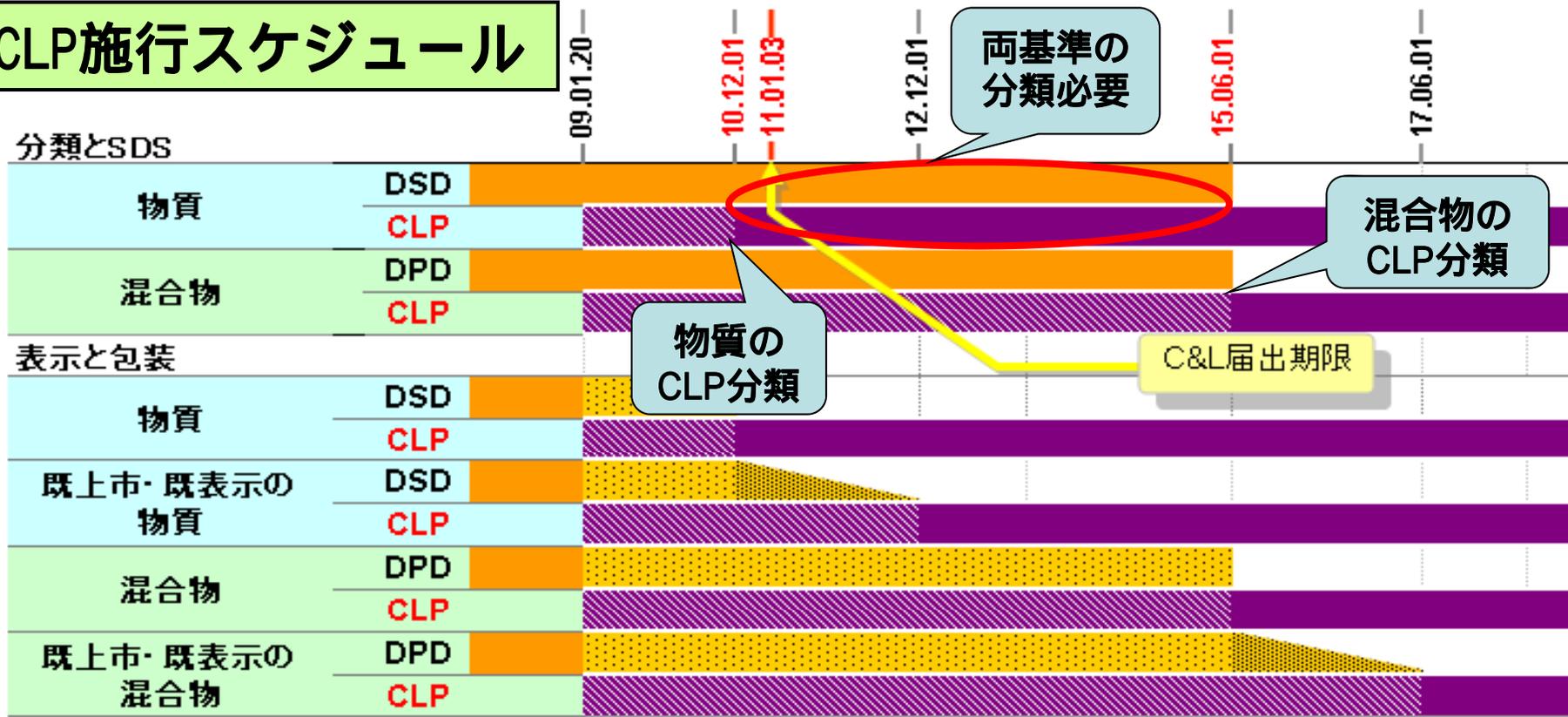
THE EUROPEAN PARLIAMENT AND THE COUNCIL OF THE EUROPEAN UNION
Having regard to the proposal from the Commission,

- (4) Trade in substances and mixtures is an issue relating not only to the internal market. Enterprises should be encouraged to harmonise their practices and from consistency with the REACH Regulation. On the other hand, those

Having regard to the proposal from the Commission,

- (5) With a view to facilitating worldwide trade while protecting

CLP施行スケジュール



DSD/DPD (Dangerous Substance Directive/Dangerous Preparation Directive)による分類)
 DSD/DPD Optional
 CLP (Classification, Labelling and Packaging Regulation)による分類)
 CLP Optional
 ☆両方がOptionalのケースでは必ずいずれか一つの実施が求められる。



上市済みかつ表示済みの製品について、再表示のための2年の猶予期間。
 2010/12/01(2015/06/01)までに上市しDSD/DSP表示・包装済みのものは、2012/12/01(2017/06/01)までは、表示を変える必要は無い。保税倉庫のものは、上市前と考えられるので注意が必要である。

関係規則

分類と表示と包装は、CLP規則で規定される。
 SDSへの分類の記載は、REACH規則(CLP規則で修正を受けた)で規定される。

CLP規則届出に関する主なポイント

届出対象 (CLP規則39条) :

(a)項 : REACH登録対象物質 (登録の一環で提出済みの場合は届出不要)

→ ・ポリマー輸入の場合、構成モノマーは**上市されない**ので
CLP届出不要 (ECHA Helpdeskへの問合せ回答、及び
ECHA>CLP>Notification>How>Guidance文書)

(b)項 : i) 危険有害性物質自体

→ ・ポリマー輸入の場合、ポリマー自体は“物質”なので、
ポリマー自体が危険有害性ならば届出対象 (ECHA FAQ)

ii) 混合物中に濃度限界値を超えて含まれ、混合物自体が危険有害性になる場合の危険有害性成分

→ ・ECHAへの問合せ回答 : **混合物が危険有害性でない場合は、その成分が危険有害性物質であっても届出不要**

届出対象の量：**量のスソ切りなく1t/y未満も対象**(ECHA CLPのQ&A等)

唯一の代理人指名(OR)について：**CLP規則では唯一の代理人制度はない。**

→ ・日化協から日-EU規制改革対話向けに、混合物構成成分の秘密保持のためのORのような第三者機関による代理が可能な運用
或いは代替名使用が出来るよう要請

分類表示の届出納期：

・2010.12.1に上市されているもの-----**2011.1.3が期限**

・2010.12.1以降に上市されるもの-----上市後 1ヶ月以内が期限

→ ・日化協からWTO/TBT向けに、混合物構成少量成分についてEU域外サプライチェーン情報伝達が困難かつ負荷が大であるため、届出の納期について配慮するよう要請

2010/7/12 ECHAはEU輸入者とORのためのCLPリーフレットを発行

ORも輸入者としてCLP届出が出来ること、ORがグループ届出することで他の輸入者に組成情報を秘匿可能なことを記載

http://echa.europa.eu/doc/clp/clp_importer_leaflet/clp_importers_en.pdf

(抜粋) 誰が届け出るべきか？ - 輸入者かORか？

CLP 規則ではEUの製造者・輸入者のみが庁に届出できる。

もし、EU域外の会社が企業秘密のために化学物質の成分情報を複数の輸入者に開示したくない場合、代表して1輸入者を指名しその輸入者がグループ届出できる。

この場合、その選ばれた輸入者のみが届出に必要な機密情報を受け取ることになる。REACH登録のために指名されたORもそのような輸入者になることができる。

ORは該当する化学物質のサンプルをEUに輸入することで輸入者となることができる。

このようなORを含む輸入者はEU域外企業から何がCLP届出対象であるかを確認することの出来る文書を受け取っておく必要がある。

CLP

ECHA
European Chemicals Agency

Important information
for EU¹ based importers
of chemicals

2010 - Time to Reclassify Your
Chemicals!

If you place chemical substances and mixtures on the Community market by importing them into EU territory, you are considered as an importer under the new Regulation on Classification, Labelling and Packaging (CLP Regulation).

As an importer, you need to classify, label and package the chemical substances and mixtures that you import in line with the CLP Regulation. In addition, you need to notify the CLP classification of your substances to the Classification and Labelling Inventory established at the European Chemicals Agency.

You are also considered to be an importer under the CLP Regulation if you are:

- A re-importer who is importing into an EU country the same substance or mixture that have previously been imported from an EU country when the supply chain is different or the substances involved have not been registered under REACH or notified to the Inventory before they were exported.
- A refiller who is supplied with substances or mixtures by an actor outside the EU.
- A distributor who is supplied with substances or mixtures by an actor outside the EU.
- An importer of explosive articles.

¹ The reference to the EU in this leaflet also includes Iceland, Norway and Liechtenstein.

ECHA/10.04.08

CLP料金規則

- ◆ CLP規則の第24条および第37条により、欧州委員会は下記のケースに対して料金設定の規則を作成する必要あり。本規則は2010.5.21に採択された。ラベルおよびSDSで混合物中の物質の化学的アイデンティティについて、
秘密保護のための代替名使用をECHAへ要請する場合
物質の分類・表示に関して、調和化された分類および表示のリストに加える
ことを提案する場合
- ◆ 料金の内容：

の場合：

標準料金：4,000ユーロ（混合物5件につき）、SME：medium 30%、small 60%、
micro 90%の各減額

混合物10件につき：標準料金：500ユーロ、SME：30%、60%、80%の各減額

の場合：

標準料金：12,000ユーロ、SME：30%、60%、90%の各減額

C&L届出におけるIUPAC名の秘密保護について

{ECHA News Alert (2010.9.13)より}

- ◆ C&L届出において以下の場合には機密情報と考えられ、IUPAC名は非開示とすることが可能である。

新規導入物質 (1t/y未満)

以下の目的でのみ使用される物質

- ・ 中間体
- ・ 科学的研究開発
- ・ 製品・プロセス指向研究開発

3 . まとめ



REACH登録は11月末までの第1登録期限が過ぎた。**CLP規則**による既上市物質の分類・表示およびREACHの**SDS改定**についても12月1日が期限であり、また、来年1月3日期限のCLP届出も含め、その確実な対応が求められる。

- ◆ REACHにおいて、SVHC対象追加、認可対象プロセス進行、制限対象追加と具体的な**規制拡大**の動きであり、今後も、その動向を注視し、適切に対応していくことが求められる。
- ◆ REACH規則、CLP規則、欧州競争法などへの**遵守のチェック**が本格化し加盟国によっては、今後、不遵守に対する罰則の適用が予想される。

Thank you for your attention!



付表 1 第1回目のSVHC(候補リスト)(2008.10.28 ECHA公表)

substance name	CAS #	Property
Anthracene	120-12-7	PBT
4,4'- Diaminodiphenylmethane	101-77-9	CMR
Dibutyl phthalate (DBP)	84-74-2	CMR
Cobalt dichloride	7646-79-9	CMR
Diarsenic pentaoxide	1303-28-2	CMR
Diarsenic trioxide	1327-53-3	CMR
Sodium dichromate, dihydrate	7789-12-0	CMR
5-tert-butyl-2,4,6-trinitro-m-xylene (musk xylene)	81-15-2	vPvB
Bis (2-ethyl(hexyl)phthalate) (DEHP)	117-81-7	CMR
Hexabromocyclododecane (HBCD)	25637-99-4	PBT
Alkanes, C10-13, chloro (Short Chain Chlorinated Paraffins)	85535-84-8	PBT
Bis(tributyltin)oxide	56-35-9	PBT
Lead hydrogen arsenate	7784-40-9	CMR
Triethyl arsenate	15606-95-8	CMR
Benzyl butyl phthalate (BBP)	85-68-7	CMR

付表-2 第2回目のSVHC(候補リスト)(2010.3.30 ECHA公表)

Substance name	CAS # (EC #)	Property
Anthracene oil	90640-80-5	PBT
Anthracene oil, anthracene paste, distn. lights	91995-17-4	PBT
Anthracene oil, anthracene paste, anthrasene fraction	91995-15-2	PBT
Anthracene oil, anthrasene-low	90640-82-7	PBT
Anthracene oil, anthracene paste	90640-81-6	PBT
Coal tar pitch, high temperature	65996-93-2	PBT, CMR
Acrylamide ← 2010.1.13時点では保留、2010.3.30で正式決定	79-06-1	CMR
Aluminosilicate, Refractory Ceramic Fibres	(650-017-00-8)	CMR
Zirconia Aluminosilicate, Refractory Ceramic Fibres	(650-017-00-8)	CMR
2,4-Dinitrotoluene	121-14-2	CMR
Diisobutyl phthalate	84-69-5	CMR
Lead chromate	7758-97-6	CMR
Lead chromate molybdate sulfate red (C.I. Pigment Red 104)	12656-85-8	CMR
Lead sulfochromate yellow (C.I. Pigment Yellow 34)	1344-37-2	CMR
Tris(2-chloroethyl)phosphate	115-96-8	CMR

付表-3 第3回目のSVHC(候補リスト)(2010.6.18 ECHA公表)

物質名	EC#	CAS#	Property
Trichloroethylene	201-167-4	1979/1/6	Carcinogenic category 2
Boric acid	233-139-2; 234-343-4	10043-35-3, 11113-50-1	Toxic for reproduction category 2
Disodium tetraborate, anhydrous	215-540-4	1330-43-4, 12179-04-3, 1303-96-4	Toxic for reproduction category 2
Tetraboron disodium heptaoxide, hydrate	235-541-3	12267-73-1	Toxic for reproduction category 2
Sodium chromate	231-889-5	7775/11/3	Carcinogenic category 2; mutagenic category 2; toxic for reproduction category 2
Potassium chromate	232-140-5	7789-00-6	Carcinogenic category 2; mutagenic category 2
Ammonium dichromate	232-143-1	7789/9/5	Carcinogenic category 2; mutagenic category 2; toxic for reproduction category 2
Potassium dichromate	231-906-6	7778-50-9	Carcinogenic category 2; mutagenic category 2; toxic for reproduction category 2

付表-4 第4回目のSVHC(候補リスト)の案(2010.8.30 ECHA公表)

物質名	EC#	CAS#	Property
1,2,3-Trichlorobenzene	201-757-1	87-61-6	PBT like substance
1,2,4-Trichlorobenzene	204-428-0	120-82-1	PBT like substance
1,3,5-Trichlorobenzene	203-608-6	108-70-3	PBT like substance
Cobalt() sulphate	233-334-2	10124-43-3	Carcinogenic category 2; toxic for reproduction category 2
Cobalt() dinitrate	233-402-1	10141-05-6	Carcinogenic category 2; toxic for reproduction category 2
Cobalt() carbonate	208-169-4	513-79-1	Carcinogenic category 2; toxic for reproduction category 2
Cobalt() diacetate	200-755-8	71-48-7	Carcinogenic category 2; toxic for reproduction category 2
2-Methoxyethanol	203-713-7	109-86-4	Toxic for reproduction category 2
2-Ethoxyethanol	203-804-1	110-80-5	Toxic for reproduction category 2
Chromium trioxide	215-607-8	1333-82-0	Carcinogenic category 2; mutagenic category 2
Acids generated from chromium trioxide and their oligomers Chromic acid,Dichromic acid and their oligomers	231-801-5 236-881-5 -	7736-94-5 13530-68-2 -	Carcinogenic category 2

付表-5 次のSVHC案の提案計画 (ECHA CHEM > Registry of Intention)

下表は、ECHA Websiteの SVHC に関するRegistry of Intention (RoI) の2010.9.1現在の状況(5物質掲載)

届出国	物質名	EC#(CAS) etc	届出日	付属書XV提出予定日	Property
Norway	Arsenic acid and its salts	Index #033-005-001	30/04/2008	02/08/2010	CMR
COM	Residues (coal tar), pitch distrn.	295-507-9	27/06/2008	N/A	PBT
COM	Distillates (coal tar), heavy oils	292-607-4	27/06/2008	N/A	PBT
COM	Distillates (coal tar), heavy oils pyrene fraction	295-304-5	27/06/2008	N/A	PBT
COM	Distillates (coal tar), pitch pyrene fraction	295-313-4	27/06/2008	N/A	PBT

付表-6 次のSVHC案の提案計画

Registry of intentions for Annex XV dossiers

Current intentions

- [Dossiers submitted](#)
- [Withdrawn intentions](#)

Substances under each tab are listed in the order of the *notification of intention*. You can also sort the list by clicking on the relevant heading.

Harmonised Classificator and Labelling Proposals for Substances of Very High Concern Restriction proposals All									
Dossier by	Substance				Relevant impurities for CLH, SVHC or restriction		Notification of intention	Expected date of submission	Scope and other remarks
	IUPAC name (chemical name)	EC number (CAS number)	Purity range	IUPAC name (chemical name)	EC number (CAS number)	Concentration range			
ECHA on request of the Commission	1,2-Benzenedicarboxylic acid, di-C6-8-branched alkyl esters, C7-rich (DIHP)	276-158-1					25/10/2010	24/01/2011	CMR
ECHA on request of the Commission	1,2,3-trichloropropane	202-486-1					25/10/2010	24/01/2011	CMR
ECHA on request of the Commission	N-methyl-2-pyrrolidone, 1-methyl-2-pyrrolidone	212-828-1					25/10/2010	24/01/2011	CMR
ECHA on request of the Commission	Hydrazine	206-114-9					25/10/2010	24/01/2011	CMR
ECHA on request of the Commission	C.I. Basic Violet 3; 4-[4,4'-bis(dimethylamino) benzhydrylidene] cyclohexa-2,5-dien-1-ylidene]dimethylammonium chloride	208-953-6					25/10/2010	24/01/2011	CMR
Denmark	1,2-Benzenedicarboxylic acid, di-C7-11-branched and linear alkyl esters	271-084-6					04/10/2010	24/01/2011	CMR
Germany	4-(1,1,3,3-tetramethylbutyl)phenol	205-426-2					20/10/2010	24/01/2011	EQC

付表-7 認可対象物質（付属書XIV）の勧告

2009.6.1 ECHAが欧州委員会へ認可対象7物質を勧告

物質	有害性	発効後の 認可申請期限	発効後の Sunset date*
5-tert-butyl-2,4,6-trinitro-m-xylene (musk xylene)	vPvB	24ヶ月	42ヶ月
4,4' - Diaminodiphenylmethane(MDA)	CMR (Car.cat2)	24ヶ月	42ヶ月
Alkanes, C10-13, chloro (SCCPs)**	PBT vPvB	27ヶ月	45ヶ月
Hexabromocyclododecane (HBCD)	PBT vPvB	27ヶ月	45ヶ月
Bis (2-ethyl(hexyl)phthalate) (DEHP)	CMR (Rep.cat2)	30ヶ月	48ヶ月
Benzyl butyl phthalate (BBP)	CMR (Rep.cat2)	30ヶ月	48ヶ月
Dibutyl phthalate (DBP)	CMR (Rep.cat2)	30ヶ月	48ヶ月

* 認可申請ない場合の禁止開始日

** UN POPsで禁止されたため削除（第5回CARACAL情報）

2010.12.02

(ECHA Press Release 2009.6.2)

付表-8 認可対象物質（付属書XIV）勧告の案

2010.7.1 ECHAが公表した欧州委員会へ勧告する認可対象物質（8物質）の案

物質	有害性	付属書XIV収載後の認可申請期限	付属書XIV収載後のSunset date
2,4 Dinitrotoluene (2,4-DNT)	CMR (Car.cat2)	24ヶ月	42ヶ月
Diarsenic pentaoxide	CMR (Car.cat1)	18ヶ月	36ヶ月
Diarsenic trioxide	CMR (Car.cat1)	18ヶ月	36ヶ月
Diisobutyl phthalate (DIBP)	CMR (Car.cat2)	12ヶ月	30ヶ月
Lead chromate	CMR (Rep...cat1)	21ヶ月	39ヶ月
Lead chromate molybdate sulfate red (C.I. Pigment Red 104)	CMR (Rep...cat1)	21ヶ月	39ヶ月
Lead sulfochromate yellow (C.I. Pigment Yellow 34)	CMR (Rep...cat1)	21ヶ月	39ヶ月
Tris (2-chloroethyl) phosphate (TCEP)	CMR (Rep...cat2)	24ヶ月	42ヶ月

付録-9 制限対象（REACH付属書XVII）

- ◆ 2009.6.26公布のREACH付属書XVII更新版は、付属書XVII初版の Point No.52より後に以下のNo.53からNo.58が追加されている。

Point No.	物質	76/769/EEC修正日
53	PFOS(C8F17S02X)	2006.12.12付け
54	2-(2-methoxyethoxy)ethanol (DEGME)	2008.12.16付け
55	2-(2-butoxyethoxy)ethanol (DEGBE)	2008.12.16付け
56	Methylenediphenyl diisocyanate (MDI)	2008.12.16付け
57	Cyclohexane	2008.12.16付け
58	Ammonium nitrate (AN)	2008.12.16付け

- ◆ 2010.4.1に新たに付属書 に追加・更新されたもの

(

 Dichloromethane

 Organostannic compounds

 Lamp oil/grill lighters
)

付表-10 (1) 制限物質の提案計画

下表は、ECHA Websiteの制限に関する Registry of Intention (RoI) の2010.6.15現在の状況(6物質掲載)

届出国	物質名	EC#(CAS#)	届出日	付属書XV提出予定日
Norway	Phenylmercuric octanoate	13864-38-5	22/06/2009	15/06/2010
Norway	Phenylmercury acetate	200-532-5	22/06/2009	15/06/2010
Norway	Phenylmercury neodecanoate	247-783-7	22/06/2009	15/06/2010
Norway	Phenylmercury propionate	203-094-3	22/06/2009	15/06/2010
COM	Mercury	231-106-7	25/11/2009	15/06/2010
Norway	Phenylmercury 2-Ethylhexanoate	236-326-7	15/01/2010	15/06/2010

付表-10 (2) 制限物質の提案計画

下表は、ECHA Websiteの制限に関する Registry of Intention (RoI) の2010.12.1現在の状況(4物質掲載)

届出国	物質名	EC#(CAS#)	届出日	付属書XV提出予定日
Denmark	Bis(2-ethylhexyl) phthalate	204-211-0	20/10/2010	21/01/2011
Denmark	Benzyl butyl phthalate	201-622-7	20/10/2010	21/01/2011
Denmark	Dibutyl phthalate	201-557-4	20/10/2010	21/01/2011
Denmark	Diisobutyl phthalate	201-553-2	20/10/2010	21/01/2011